

令和4年度 ことしの仕事



美幌町予算説明書

「ことしの仕事」の発刊にあたって

町民の皆様には、日頃から美幌町のまちづくりに対してご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

令和元年5月に町長の職に就き、町政の執行にあたってまいりましたが、令和4年度は、任期中に編成する最後の本格予算となります。

この間、新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、直面する様々な課題に立ち向かい、「美幌の活力を高め、次代につなげるまちづくり」の実現に全力を尽くしてまいりました。

私たちの「ふるさと美幌」も、全国的な少子高齢社会の進展に伴う社会保障関連経費の増大が避けられない状況にある中で、新型コロナウイルス感染症への対応、公共施設等の整備や人口減少問題への対応など喫緊かつ重要な課題が山積しております。

令和4年度予算では、中長期的な視点に立って行財政運営に努めながらも、町民の皆様とお約束した施策や、未来へつなげる施策を着実に推進しつつ、今、最重要課題である新型コロナウイルス感染症対策に万全を期することを念頭に置いて、予算編成にあたってまいりました。

このたび作成しました「ことしの仕事」をご覧いただき、町の1年間の予算や主な取り組み、町民の皆様からお預かりした税金などがどのように使われているかを知っていただき、「ふるさと美幌」に対する貴重なご意見をいただければ幸いです。

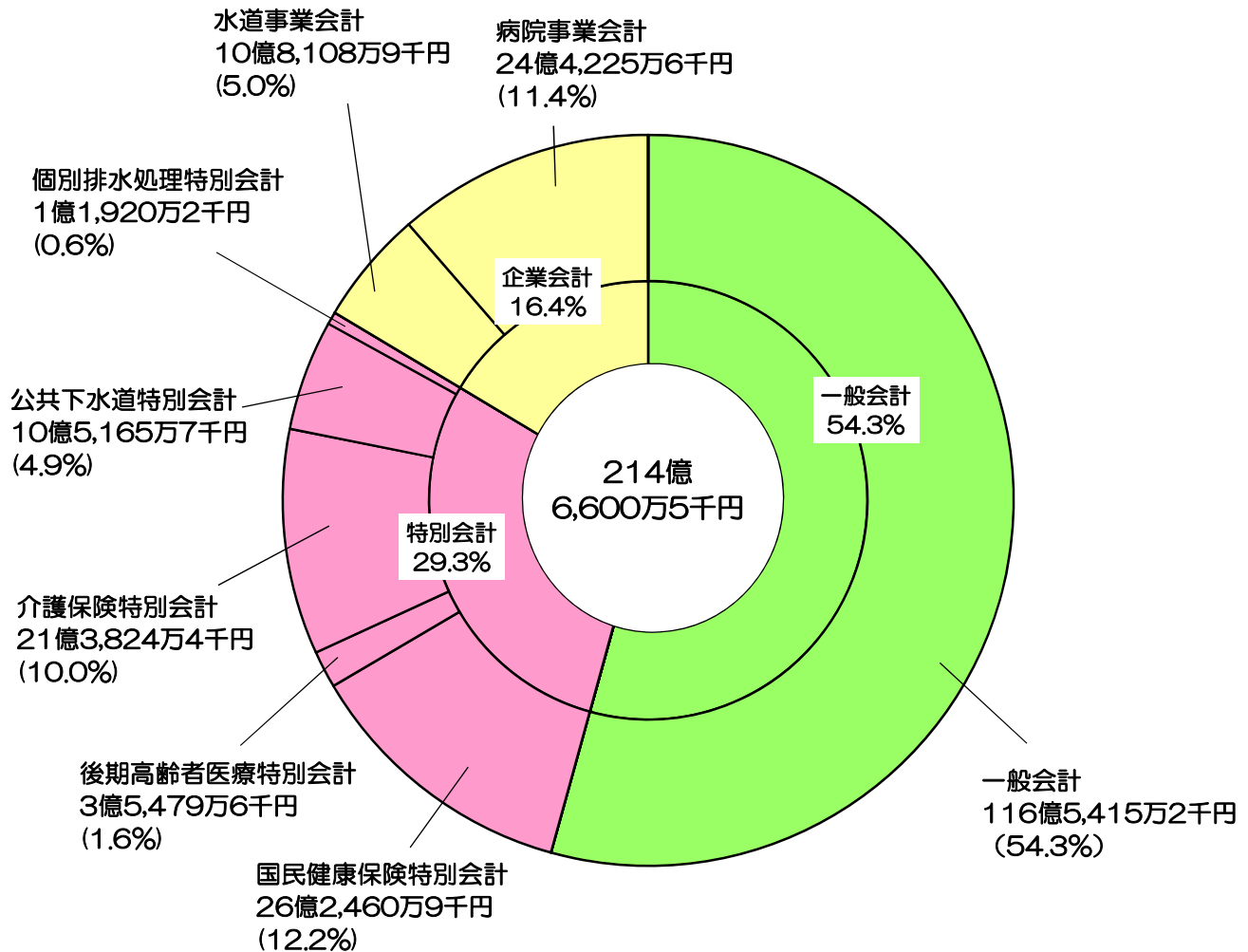
令和4年5月

美幌町長 平野 浩司

目 次

令和4年度まちの予算	1
一般会計の収入内訳	2
一般会計の支出内訳	3
新型コロナウイルス感染症対策予算	4
デジタル・脱炭素関連予算	5
まちの将来像と基本目標	6
令和4年度の主な事業	7

令和4年度まちの予算



一般会計

- ・福祉、道路整備、教育など基本的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計

- ・国民健康保険など特定の事業を行うための会計で、町には5つの特別会計があります。

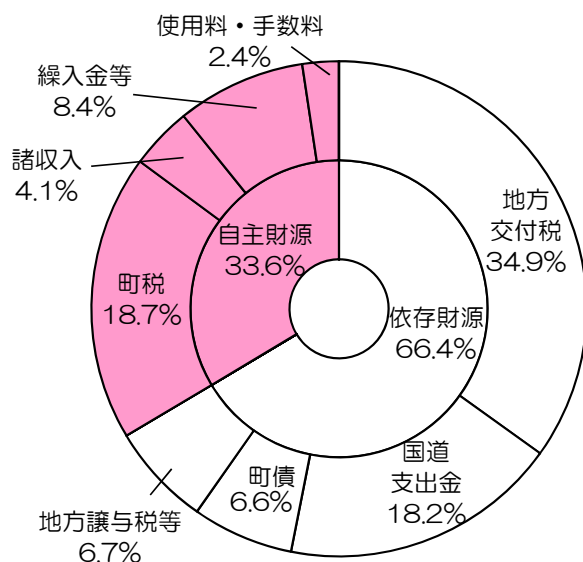
企業会計

- ・会社と同じように事業を行い収益をあげて運営する会計で、水道事業と病院事業があります。

今年度の一般会計では、新型コロナウイルス感染症対策及びワクチン接種に要する経費のほか、次期廃棄物処理施設の整備や移住・定住施策の充実、新たな地域公共交通システムの確立といった町長重点施策に掲げる事業などに要する経費を積み上げた結果、116億円の予算規模となりました。

一般会計の収入内訳

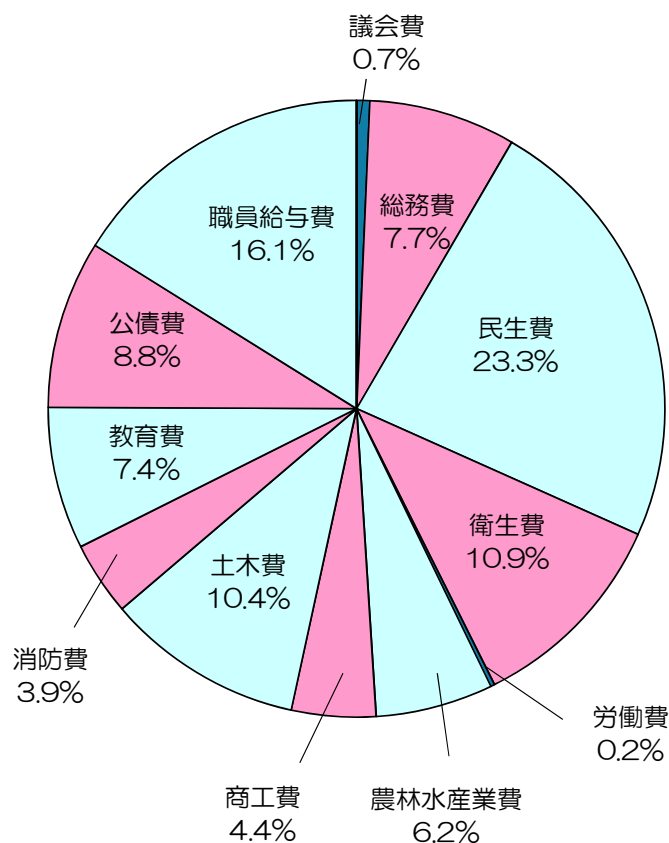
項 目	説 明	金 額
自 主 財 源	町が自主的に調達（用意）できる収入のことです。	39億1,123万1千円
町 税	町民税や固定資産税など、皆さまに納めていただく税金です。	21億8,086万円
分 担 金 及 び 負 担 金	事業にかかる経費の一部を、利用者が負担するお金です。	9,666万円
使 用 料 及 び 手 数 料	施設の使用料や証明書の発行手数料などです。	2億7,789万2千円
財 産 収 入	不要物品や土地などの財産を売り払って得るお金です。	3,341万3千円
寄 附 金	町にご寄附いただいたお金です。	1億5,868万6千円
繰 入 金	町の基金（貯金）から取り崩されたお金です。	6億8,185万8千円
繰 越 金	前年度から繰り越したお金です。	1,000万円
諸 収 入	給食費や貸付金の返還金、その他の様々なお金です。	4億7,186万2千円
依 存 財 源	国や北海道から交付されたり、借金をするなどして得られる収入のことです。	77億4,292万1千円
地 方 譲 与 税	皆さまが国や北海道に納めたお金の一部が、法律や一定のルールに基づき、町に配分されるお金です。	1億9,387万3千円
利 子 割 交 付 金		170万8千円
配 当 割 交 付 金		528万3千円
株式等譲渡所得割交付金		437万1千円
法 人 事 業 税 交 付 金		2,219万5千円
地 方 消 費 税 交 付 金		5億2,468万4千円
自 動 車 取 得 税 交 付 金		1千円
環 境 性 能 割 交 付 金		1,446万8千円
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金		31万5千円
地 方 特 例 交 付 金		1,243万8千円
地 方 交 付 税		40億7,000万円
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		240万9千円
国 庫 支 出 金	法律や一定のルールに基づき、町の特定の事業のために配分されるお金です。	12億1,883万1千円
道 支 出 金		9億169万8千円
町 債	国や銀行から借り入れるお金（借金）です。	7億7,064万7千円
計		116億5,415万2千円



収入全体では、地方交付税、国や北海道から交付される依存財源が全体の66.4%を占めており、町の予算は国の予算の影響を受けやすいといえます。
安定的な財政運営のため自主財源（町税やふるさと寄附金など）の確保が重要な課題となっています。

一般会計の支出内訳

項 目	説 明	金 額
議 会 費	議会運営の経費です。	7,958万2千円
総 務 費	全般的な管理事務、庁舎管理、戸籍や選挙などの経費です。	8億9,831万3千円
民 生 費	社会福祉や児童福祉などの経費です。	27億1,413万9千円
衛 生 費	健康づくりやごみ収集などの経費です。	12億7,580万4千円
労 働 費	労働者の福祉向上や就労支援の経費です。	2,448万2千円
農 林 水 産 業 費	農業や林業の振興などの経費です。	7億1,731万5千円
商 工 費	商工業や観光の振興などの経費です。	5億1,400万5千円
土 木 費	道路や公園、公営住宅の整備などの経費です。	12億665万1千円
消 防 費	消防や救急などの経費です。	4億4,977万1千円
教 育 費	学校教育や社会教育などの経費です。	8億6,866万9千円
公 債 費	町が借り入れたお金（借金）の返済金です。	10億2,790万9千円
職 員 給 与 費	職員の給料や手当などです。	18億7,651万2千円
予 備 費	災害など緊急時のために用意しているお金です。	100万円
計		116億5,415万2千円



少子高齢社会の進展に伴う社会保障関連経費の増により、依然として、民生費の割合が大きくなっています。
また、次期廃棄物処理施設の整備や新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費等により、衛生費が伸びているほか、小中学校ＩＣＴ教育環境整備に要する経費等で教育費も伸びており、これら3つで全体の約4割を占めています。

新型コロナウイルス感染症対策予算

令和4年度当初予算では、町民の皆様の暮らしと雇用を守るため、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策として**2億6千万円**を計上しました。

計上した主な事業は次のとおりです。

継続

新型コロナウイルスワクチン接種事業

【内 容】

ワクチン接種（3回目）を安全かつ速やかに行うことができるよう、必要な体制整備を行います。

【予 算】 **7,220万円**

- ・ワクチン接種（個別・集団）委託
- ・コールセンター業務委託
- ・ワクチン接種事業会計年度任用職員給与費など

【その他】

- ・ワクチン接種に関する情報は、町広報やSNS等を通じて随時お知らせします。

【担 当】

新型コロナウイルスワクチン接種対策室
☎0152-77-6560

保健福祉課健康推進グループ
☎0152-77-6544

新規

ふるさと寄附金プロモーション推進事業

【内 容】

ふるさと納税特設サイトを通じた、更なる地元特産品のPR及び内容充実のための体制づくりを行います。

【予 算】 **424万円**

①返礼品の充実

商品企画に長けた講師等を招き、地元事業者を対象とした返礼品企画講座を開催することで、講師等との連携による新たな返礼品の開発を行います。

②返礼品活用方法の充実

一流料理人や町内飲食店による特産品活用レシピを開発し、特産品の魅力向上、販路拡大・地産地消のきっかけづくりを目指します。

③ふるさと納税特設コーナーの開設

道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」に特設コーナーを設置し、特産品の魅力発信や新たな寄附者獲得を目指します。

【担 当】

政策課政策統計グループ
☎0152-77-6529

新規

砂糖消費拡大PR事業

【内 容】

感染症の影響で大きく落ち込む砂糖消費の回復を図るため、砂糖の無料配布及び学校給食等での活用により、消費拡大のPRを行います。

※日本甜菜製糖(株)美幌製糖所にて製造から包装までを行っている「ビート含蜜糖」を活用します。

【予 算】 **141万円**

①プレミアム商品券購入者へ、1人あたり1袋を商品券引き換え時に無料配布

②町から給食センター及び保育園等へ1年間分（予定数量）を提供し、上白糖の代わりに使用

③PR用チラシの作成

【担 当】

農林政策課農政グループ
☎0152-77-6546

新規

ビジネスマッチング支援事業

【内 容】

事業者の新たな受注獲得等の取組に対する支援を行います。

【予 算】 150万円

①対象：町内に事業所を置き、事業を行っている事業者（個人・法人）

②支援額：必要経費（旅費・送料・出展費等）の3分の2
補助上限15万円

※合計で15万円に到達するまでは何度でも支援を受けることが可能

【担 当】

商工観光課商工観光グループ
☎0152-77-6548

継続

プレミアム商品券発行事業

【内 容】

プレミアム商品券を発行し町内事業者支援と町内消費喚起を図ります。

【予 算】 1,969万円

①2,000円で2,500円分の商品券を発行
・上限1人5セットまで購入可能
・5月に20,000セットを販売予定

②スマッピーカードと連携した商品券を発行
・一般分3,000円が1,800名分
・子育て世帯分5,000円が600名分

【担 当】

商工観光課商工観光グループ
☎0152-77-6548

デジタル・脱炭素関連予算

国が推進する「デジタル」「脱炭素」に対応した社会の実現のため、町においても関連する経費を新たに予算計上しました。

今後も、デジタル・脱炭素社会の実現を目指した取組みを積極的に展開していきます。

デジタル関連の主な事業

○移住相談拠点施設の整備 1億47万円
旧みどりの村休憩施設を、テレワーク機能を兼ね備えた移住相談拠点施設として整備

○庁内デジタル化推進事業 1,976万円
リモート会議のための機器整備、RPAの導入（定型的な作業の自動化）などにより、業務のデジタル化・効率化を図る

脱炭素関連の主な事業

○企業の森林づくり事業の推進 545万円
二酸化炭素排出削減の取り組みとして、植樹などの育林活動に多くの企業が参加していることから、町有林作業員を増員し、受入体制の強化を図る

○電気自動車の導入 497万円
環境負荷への配慮、地球温暖化の防止を図るため、公用車に電気自動車1台を導入する

第6期美幌町総合計画で、美幌町の将来像を「ひとがつながる、みらいへつなげるここにしかないまち びほろ」と定めており、その実現に向けて取り組んでいくための5つの基本目標があります。

5つの基本目標

基本目標1 人を**創**り、地域力を高めるまちづくり

基本目標2 自然の美しさやくらしの安心を、
みんなで**護**りあうまちづくり

基本目標3 まちの資源や持ち味を、
活力に換えていくまちづくり

基本目標4 住みやすく、
人が**集**まる基盤をつくるまちづくり

基本目標5 夢を**育**む体験！
あたたかい人をつくるまちづくり

創

基本目標1 人を創り、
地域力を高めるまちづくり

新規

バス路線の再編と申込バス「もーびー」の導入による
地域公共交通システムの確立

市街地の移動や通勤・通学時の利用、ＪＲとの接続などの課題解決のため、市街地路線バスの運行体制を見直します。さらに、小型の申込バス「もーびー」の導入と専用のバス停を設置し、路線バスでは運行できなかった地域の解消と移動時間の短縮を図り、公共交通体系の見直しを通じた利便性の向上に取り組みます。また、新たに「峠の湯」までの送迎サービスを開始します。

保育園や小中学校の課外活動、老人クラブなどの団体活動の際に利用する「多目的バス」が老朽化しているため更新を行います。

【予 算】 4, 156万円

- | | |
|------------------------|---------|
| ・デマンドバス実証運行、デマンドバス停の設置 | 604万円 |
| ・多目的バスの更新（ラッピング含む） | 2,420万円 |
| ・多目的バスの運行委託 | 1,092万円 |
| ・路線バス・デマンドバス共通回数券の導入 | 10万円 |
| ・運転手確保のための二種免許取得費用の支援 | 30万円 |



申込バス「もーびー」

【担 当】

町民活動課町民活動グループ ☎0152-77-6537

新規

継続

移住・定住の取り組みを通じた「まちの活力」の創出

テレワークの普及・浸透によって地方移住への関心が高まっており、美幌町への移住相談件数も増加しています。移住定住情報サイト「びほろ暮らし」を通じた情報発信、都市圏で開催される移住相談会への出展などプロモーション活動の継続と、旧みどりの村休憩施設をテレワーク機能を兼ね備えた移住相談拠点施設として改修し、新たな移住相談者や美幌町に関わりある企業との関係性を深め、関係人口の創出に取り組みます。

【予 算】 1億577万円

- | | |
|--|---------|
| ・「びほろ暮らし」を通じた情報発信、
移住相談会への出展、移住体験住宅の運営等 | 530万円 |
| ・旧みどりの村休憩施設の改修と移住相談の受付 | 1億47万円 |
| ・空き家を活用した移住体験住宅の改修支援 | 1,000万円 |
| ※予算は空き家対策で計上 | |



旧みどりの村休憩施設

【担 当】

政策課政策統計グループ ☎0152-77-6529

護

基本目標2 自然の美しさや暮らしの安心を、 みんなで護りあうまちづくり

新規

ごみの減容・減量化と

継続

次期埋立処分場の整備に向けた取り組み

現在の埋立処分場は、令和9年3月までの使用を予定していましたが、残余容量調査の結果、最短で令和6年2月に埋立容量に達する見通しであることが明らかになったため、次期埋立処分場の整備に向けた計画を策定します。

また、広域（1市4町）での埋立ごみの減容化を目的とした可燃ごみの焼却・中間処理を行う施設の建設を目指し、基本構想及び基本計画の策定作業を進めますが、施設の稼働時期は数年先となることから、現埋立処分場の延命化を図るため、ごみの減容化や減量化に取り組めます。

【予算】 1億2,403万円

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| ・次期埋立処分場整備に向けた計画の策定 | 2,993万円 |
| ・広域による可燃ごみの焼却・中間処理
施設整備に向けた負担金 | 716万円 |
| ・埋立ごみ減容化のための機械・車両購入 | 8,173万円 |
| ・ごみ減量化を図るためのリサイクル処理 | 521万円 |



現在の埋立処分場

【担当】

環境管理課環境衛生グループ ☎0152-77-6550

新規

小規模多機能型居宅介護施設の開設に向けた支援

高齢者が安心して在宅生活を送られるよう、1つの介護事業者が「通い」「宿泊」「訪問」の3つのサービスを一体的に提供する「小規模多機能型居宅介護施設」が西1条南2丁目に建設されます。令和5年度の開設を目指した整備が円滑に進むよう介護事業者を側面から支援し、介護サービスの充実を図ります。

【予算】 9,430万円

- | | |
|-----------------------------|---------|
| ・事業者に対する施設整備及び
開設準備費用の支援 | 4,730万円 |
| ・事業者に対する施設整備費の貸付金 | 4,700万円 |



【担当】

保健福祉課高齢介護グループ ☎0152-77-6543

活

基本目標3 まちの資源や持ち味を、 活力に換えていくまちづくり

拡充

国道243号を基軸とした体験型観光の推進

官民連携による観光の推進のため、企業が所有する宿泊保養所（古梅）を拠点としたサイクルツアーやツリーイングツアーを企画・運営する環境を整えます。また、藻琴山、美幌峠、津別峠の稜線を結ぶ「屈斜路湖カルデラ外輪山トレイルルート」の整備に向け、関係団体と連携を図り、美幌峠へ繋がる国道243号を基軸とした体験型観光メニューの開発・商品化に向けた取り組みを進めます。

【予算】 1,281万円

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ・サイクル・ツリーイングツアーの企画・運営に向けた支援 | 247万円 |
| ・サイクル・ツリーイングツアー開催に向けた車両、自転車の購入 | 972万円 |
| ・トレイルルート整備やモニターツアーの開催 | 62万円 |

【担当】

商工観光課商工観光グループ ☎0152-77-6548



新規

継続

森林資源の適切な管理・保全と林業の担い手確保

林業の担い手不足により手入れ不足の山林が増えており、今後も増加することが予想されます。計画的な森林管理と環境に配慮した森林整備や担い手不足解消のため、森林環境譲与税を活用し、計画に基づく間伐等に対する支援や、林業事業体及び林業従事者に対する小型林業機械の購入支援を行います。さらに、林業に従事される方の就業を支援し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理・保全に取り組みます。

【予算】 3,771万円

- | | |
|----------------------------------|---------|
| ・森林の枝打ち、保育間伐、
間伐、道路除雪に対する支援 | 3,571万円 |
| ・林業事業体及び林業従事者
に対する小型林業機械の購入支援 | 200万円 |

【担当】

農林政策課耕地林務グループ ☎0152-77-6547



集

基本目標4 住みやすく、 人が集まる基盤をつくるまちづくり

新規

誰もが暮らしやすい 「コンパクトなまちづくり」に向けた計画の策定

美幌町は比較的コンパクトに市街地が形成されていますが、人口減少に伴い、空き家や空き店舗が増えています。このため、都市機能の集約と居住を誘導すべき区域を設けるなど、町民の皆さまが暮らしやすい「コンパクトなまちづくり」を実現するため、「都市計画マスタープラン」の見直しと新たに「立地適正化計画」を策定します。

【予算】 1,050万円

- ・都市計画マスタープランの見直し、
立地適正化計画の策定 1,050万円

【担当】

建設課都市整備グループ ☎0152-77-6551



新規

継続

空き家の解体・利活用を通じた生活環境の改善

適切に管理がなされず、放置され続ける空き家の存在は、周辺の生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。空き家の解消を促進するため、一定の条件を満たす空き家の解体費用の支援や、空き家を有効活用し、移住体験や企業のテレワークにより長期滞在できる移住体験住宅として整備する費用の支援など、総合的な空き家対策を推進します。

【予算】 1,500万円

- ・空き家解体費用の支援 500万円
- ・空き家を活用した移住体験住宅の
改修支援 1,000万円

【担当】

政策課政策統計グループ ☎0152-77-6529



空き家 改修前



改修後（民泊施設）

育

基本目標5 夢を育む体験！

あたたかい人をつくるまちづくり

拡充

継続

ICT機器を活用した学習環境の整備

令和時代のスタンダードな学校像を創り上げるため、ICT機器を活用した学習環境の整備を行います。小・中学校ではタブレット端末による授業の展開をはじめ、視覚的に様々な機能を備える電子黒板を全学年に配備します。また、美幌高校の生徒にはタブレット端末を貸与し、全学校においてGIGAスクール構想を推進します。

【予算】 4,194万円

- ・小・中学校におけるICT機器の整備 3,785万円
- ・美幌高校生への貸し出し用タブレット端末の購入 409万円

【担当】

学校教育課総務グループ ☎0152-77-6556

学校教育課学校教育グループ ☎0152-77-6557



新規

拡充

奨学金制度の充実による若者の定着と人材の確保

経済的な理由で修学を断念することがないように、若者の学ぶ意欲を後押しするため、町独自の奨学金制度の借入限度額を引き上げ、償還期間を延長します。

また、町内に居住し、医療や介護、保育等の事業所に就業する有資格者が奨学金を返済する際、年間20万円を限度に10年間、最大200万円を支援し、若者の定着と人材の確保を図ります。

【予算】 60万円

- ・医療、介護、保育等の事業所に就業する有資格者への奨学金返済支援 60万円
- ・奨学金制度の見直し
 - 高校生 9,000円以内/月 → 20,000円以内/月
 - 専門学生、大学生 25,000円以内/月 → 45,000円以内/月
 - 償還期間 10年 → 15年

【担当】

学校教育課総務グループ ☎0152-77-6556



育

基本目標5 夢を育む体験！

あたたかい人をつくるまちづくり

新規

継続

夢に向かって努力する子どもたちを応援

芸術文化に関わる人材育成のため、芸術文化活動において高い技術と感性を持つ子どもを対象に、全国大会等の出場経費を支援します。また、スポーツに励む子ども達の競技力向上を図るため、スポーツ指導者の招へい費用や全国大会等の出場経費、育成強化選手の活動を支援します。

【予算】 760万円

- ・芸術文化分野の全国大会等への出場経費に対する支援 100万円
- ・スポーツ分野の指導者招へい、全国大会等の出場経費、育成強化選手に対する支援 660万円

【担当】

社会教育課文化振興グループ

☎0152-73-4187

スポーツ振興課スポーツ振興グループ

☎0152-73-4117



新規

継続

図書館70周年記念講演の開催と

改築に向けた計画の策定

図書館の開館70周年を記念して、直木賞受賞作家である桜木紫乃さんをお招きし、講演会を開催します。

また、現在の図書館は建設から43年が経過し、施設の老朽化と狭あい化が進んでいることから、改築に向け、図書館整備検討委員会を設置し、調査研究を進めています。令和4年度は、改築に向けた基本的な考え方を示す基本計画の策定作業を進めます。

【予算】 97万円

- ・図書館70周年記念講演会の開催 64万円
- ・図書館改築に向けた検討委員会の開催、先進地の視察 33万円

【担当】

図書館課図書館グループ

☎0152-73-3016



予算の豆知識

Q 「予算」って何ですか？

A 1年間の収入と支出を見積もることです。

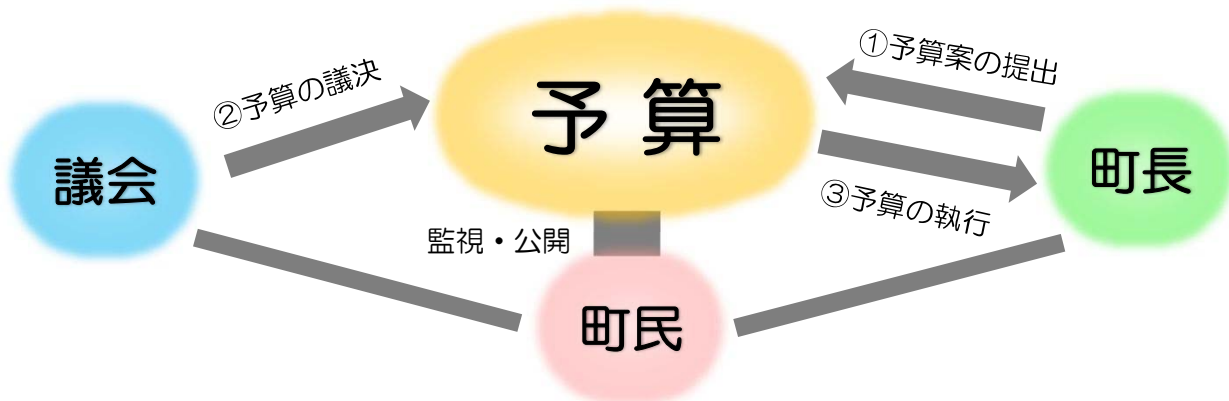
新しい年度が始まる前に、1年間（4月～3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにしてどのような事業を行うか計画し、その費用となる支出を見積もります。これらの内容をまとめたものが「予算書」です。



Q 「予算」ってどうやって決まるの？

A 町長が予算案をつくり、議会へ提出します。議会で審議し、議決されると予算が成立します。

それぞれの担当グループが、町民の皆さまのご意見やご要望をお聴きしながら、1年間の行政サービス（まちの仕事）を組み立てます。町長は、その内容を予算案としてまとめ、議会へ提出します。議会は、いろいろな面から審議し、議決により予算を決めます。



Q 一度決まった予算は変えないの？

A 必要なときに変えることもあります。これを「補正予算」といいます。

台風などの自然災害が原因で生じる急な施設の修理など、予定よりも多くの経費が必要となってしまったときには、変更する予算案を作って当初予算と同じように議会に提案しています。



ことしの仕事

～令和4年度 美幌町予算説明書～

(発行年月日) 令和4年5月
(発行) 美幌町
(お問い合わせ先) 美幌町役場 財務課財務グループ
〒092-8650
網走郡美幌町字東2条北2丁目25番地
電話 0152-77-6530 (直通)
FAX 0152-72-4869
メール zaimug@town.bihoro.hokkaido.jp

ホームページでは、令和4年度予算に関する詳細など多くの資料を公表しています。
予算等に関して気になること、疑問点などありましたらお気軽にお問い合わせください。

【URL】 <http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/zaisei/>

- ・各会計予算説明資料
- ・第2次美幌町財政運営計画
- ・グラフで見る財政状況
- ・美幌町財政状況説明書
- ・財政状況資料集
- ・美幌町の財務書類 など

